

小銭は邪魔者？

小峰優奈さんの作品



最近キャッシュレス決済が増えました。感染症対策もそれに拍車をかけています。確かにいちいち財布を出して現金で一円単位まで払うよりカードを出すだけで済むのは、買い手も売り手も楽でよいのかも知れません。私も時々使います。しかしその結果銀行に小銭を入金すると手数料がかかるようになりました。硬貨 50 枚までは無料ですがそれ以上は手数料がかかります。

新聞に、しょうがいしゃの自立支援NPOのパン屋さんの話が載っていました。しょうがいのある人の時給を少しでもあげたいのにと。また販売でお金を数えることで品物と商品の値段を認識することも養っているといいます。そこで調べて 500 枚まで無料という銀行があったのでそこに入金することにしたそうです。一円玉五円玉を大事にする世の中であって欲しいとも言っていました。お金というのは単に物を売り買いする時の道具のよう

ですが、その道具は、お金をやり取りする中で結構人とのコミュニケーションをうんだり、買い物すればお財布の中からお金が減ることでお金が減る実感が持てたり、一円足りなくても買えなかったりして一円の大事さが分かったり、どんな高額なお金でも一円の積み重ねであることが見えます。

便利さというのは、誰にとっての何のための便利さなのかをよく考えないと、便利さや効率=万能ではありません。便利さは悪くはありません。でもそれと引き換えに失うものはないか、もしあるとすればそれはどうしたら失われなくてすむかを考えねばなりません。

一円なんて、とか一円くらいとか、とついつい思いがちですが、どんなに高額なお金も一円から始まることを忘れないようにしたいと思います。
(理事長 遠藤良子)

2021年にご寄付下さった皆さま (敬称略)

国立のぞみ教会

伊藤 邦雄 大塚 靖子 田中 妙子

K.T. E.Y. F.K. N.F. 他2名様



相談支援エプシロン

Tel 042-505-7021 Fax 042-505-7669

夜空

この頃、夜空が気になるようになった。30センチぐらいの玩具みたいな天体望遠鏡を手に入れたことがきっかけだ。

ある夜、いつもより15分ぐらい早く夜勤に出掛けて、目星をつけた場所で、リュックから望遠鏡と小さな三脚を取り出した。ターゲットは月。月は少し顔を上げれば見えるから、望遠鏡もちょっと上に向ければ月が捉えられる気でいた。ところが実際にやってみると、望遠鏡の筒をほんの僅か傾けたとしても、身体をものすごく低くしないとレンズが覗けない。結局地面に顔が付きそうなほど窮屈な姿勢となってしまう、ろくろく見ることができなかった。

その経験から、「次は脚の長い三脚を立てよう。できれば高い台などの上で。どこかにいい場所はないだろうか」と考えていたある夕方、エプシロンの自分の机に座って東向きの窓からふと空を見たら、そこに月がいた。月の位置は日ごと時間ごとに移り変わるとはいえ、これまで一度もエプシロンの窓から月を見たことはなかったのに。いかに人は見たいものだけを見ることかと笑ってしまった。

翌日、18時に仕事を終わると机の上に三脚を立てた。それでも窮屈な姿勢になったけれど、クレーター

の陰影をこの目で、すぐ目の前に見ることができて、とても満足した。

その後、鏡で像を90°曲げて上から覗き込むタイプの望遠鏡があることを知ったので、いずれそんなものを手に入れ、もう少し楽な姿勢でゆっくりと見てみたいと思っている。今度は星たちも。

去年は、サービス等利用計画の臨時作成や支援会議の回数が多かった。予期せぬ状況変化の中で新しいサービス利用を試みたり、苦労を共有し課題整理を行うことで何とか状況改善を図りたいと思う方が多かったということだと思う。多くの事業所で人手不足が目立つ中、昨秋市内にオープンしたヘルパー事業所に助けられた方も多かった。グループホームの新設も続いている。一方で、ご本人ご家族が希望するような支援や関わりが得られなかったり、「長いトンネルの中」にいるお気持ちで過ごしていらっしゃるだろうご家庭もあつたりと、本当に様々だ。

遠い天体に自分の心に向かわせることは、それらわたしたちの日常からのあまりにも遠い往復運動となるようで怯むような気持ちもわたしにはあるのだけれど、それでもやはり夜空を見上げてみよう。一日の終わりに、一つひとつの星の輝きを、ただ見つめる時間。(白川)



くじら雲から かいゆうへ

2021年6月19日を持って、退職した丹羽康子です。かいゆうだより65号で、丹羽への皆様からの退職に向けてのお言葉を頂き、大変恐縮し、感謝し、感激致しました。また、かいゆう利用者の

ご家族の方、かいゆうをご存知の方からも、退職後に再会した折、祝辞や慰労のお言葉を頂きました。ありがとうございました。本当にお世話になりました。

くじら雲から、かいゆうで働けたことは、丹羽の人生で、大きな経験という宝物を頂きました。関係する多くの皆様との心地よい関係が、後悔のない職場となりました。

2019年6月にNPO法人くじら雲の解散閉鎖手続きを終えた時点で、くじら雲を、しばらくの間、皆様の記憶にとどめて頂きたいと願っていました。そんな折、「くにたちベンチ事業」というものがあることを知り、退職を機に応募しました。それから半年、やっと谷保第三公園の



図書館側入口に設置されました。

くじら雲は、この入口の南側にあった昭和の平屋



貸家を拠点に、1998年4月から任意団体として活動を始めました。ボランティア活動から仕事へと発展し、今に至るまで、楽しい生活を送ることができています。「このベンチが5年、10年くらいは持ってくれるといいなあ！」その後も、かいゆうに在職するスタッフにより、さらに、福祉事業の充実がなされていることを願っています。地域住民として、これからも、よろしくおつき合いお願い致します。(丹羽康子)

*くにたちベンチ事業については、国立市ホームページをご参照下さい。

放課後等デイサービス

くじらっこ 嬉しさと寂しさが

Tel/Fax 042-505-4661

2022年になって早くも1ヵ月以上経ち、冬の寒さもピークを迎えているように感じます。青梅の自宅でもこたつ、エアコンやストーブとフル活動で過ごしています。簡素に気をつけ、風邪やインフルエンザはもちろん、コロナにも気をつけながら生活して

いかなければと感じています。早く暖かくなるといえないと思いつつも、雪降らないかなとワクワクもしています。降ったら降ったで雪かきなど大変なのですが…。

くじらっこでは3月末で1名の方が高校を卒業。4月より社会人になります。くじらっこが出来た2011年頃からご利用され、長く関わりのあった方なのもあり、嬉しいような寂しいような気持ちでいます。3月末までの残された時間を、少しでも楽しく過ごして頂けたらいいな(^ω^) (市川)

居宅介護等事業・訪問介護事業 くじらハウス 短期入所 おにぎり

Tel 042-505-7034

Fax 042-505-7035

戦慄の出来事

ある朝出勤中にバイクと乗用車の接触事故を間近で見ました。二車線の道路を左車線から乗用車が右にウインカーなしで入っていき、右を走行中のバイクと接触していました。バイク側は接触されましたが、何とか体制を持ち直して倒れずに済みました。その後、二組はコンビニの駐車場へと入っていきました。恐らく乗用車側のわき見運転による事故だったかと思います。よくよく思い返すと、そのすぐ後

ろを走っていた自分の車も、もしバイクが転倒していたらと想像すると戦慄しました。最近こういった車での事故を目撃することが多く、自分も車通勤のため、一層注意して運転せねばなと思うばかりです。友達からも、運転に慣れて来てからが一番油断してはいけないと言われているので、今日も安全運転で帰宅しようと思います。(中川)

生活介護事業所

くじら工房 はじめまして！

Tel/Fax 042-843-3450

☆盛田由利江さん

以前は高齢者施設や病院で勤務していました。高齢者以外の介護は初めてなので入職時は、まるで宇宙に来たようでした。慣れないながらも利用者様に会うたびに「おはようございます」や「今日お昼何だった?」「今度うちに遊びにおいで」「〇〇ちゃんと呼んで」と声をかけて下さり、受け入れてくれているのかな?と少しホッとしています。今年は、まだまだこちらでの介護は初心者であることと、バイトなので利用者様に携わる時間も日数も少ないですが、少しずつ皆様と打ち解けられたらいいな、お役に立てたら嬉しいな、と思っています。

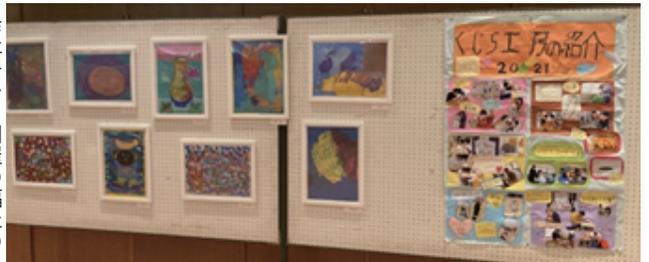
誰もが集えるみんなの居場所(10:30~18:30日祝休み)
日中一時支援事業(15:30~土日祝休み)

たまりば宙 (そら) Tel/Fax 042-843-0443

たまりば宙の「五十円市」

初めての試みとして、物の整理や、たまりば宙を周知して頂くために開催しました。常連さんはもちろん、若い方からお年寄りまで来て下さり、スタッフ一同充実した1日を過ごすことが出来ました。大量生産・大量消費、使い捨て社会を反省して環境に配慮し、物を大事にする暮らし方が見直されてい

昨年十一月開催の福祉の
つどいの展示(福祉会館)



☆五明田(ごみょうだ) 哲也さん

12月からくじら工房で働いています。皆さんが明るく、楽しく、元気に1年を過ごせるよう、くじら工房の先輩スタッフの方々に様々なことを教わりながら、日々精進致しますのでよろしくお願い致します。

☆神崎真紀子さん

今まで長く倉庫業をしていました。そこで障がい者さんのお世話をするようになり、やりがいを感じたのでくじら工房に来ました。これからも皆さんと楽しく過ごしていきたいです。よろしくお願い致します。

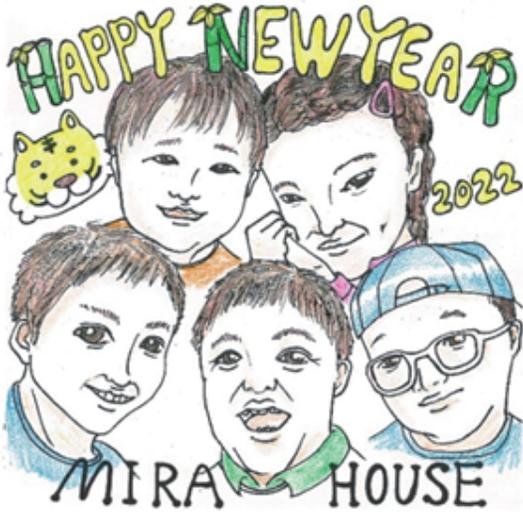
る世の中です。と同時に、歳を重ねるとともに、物を減らすことが必要と思えるようになってきました。今後も年に2回ぐらいやれたらと思っています。たまり場として、居心地のいい場所を目指していきたいと思っています。(荒木)



Group Home

ミラハウス

笑顔になること



相変わらずなかなか外出ができませんね。その中でもできることってなんだろう？と誰もが考え続ける毎日ですよね。

昨年11月に2回あった祝日に、ベランダでバーベキュー、公園でピクニックを楽しみました。ピクニックは久しぶりに揃っての外出だったので、みんなニコニコでした！12月は、2回ケーキを食べました。1回目は利用者さん2名のお誕生日会、2回目はクリスマス会です。12月に限らずですが、お誕生日会の日には食事作りの方が普段以上に腕を奮ってくださり色とりどりのごちそうが並びます。クリスマス会には恒例のサンタさんも来てくださり、みんなキラキラした目でプレゼントを受け取りました。今年はなにができるかな？どこに行けるかな？みんなが笑顔になっちゃうことたくさんしましょうね！！（宮澤）

来歩ハウス

今年も元気に



グループホームの利用者さんは日中、作業所に通所され、午後や夕方に帰ってきます。以前はプールに入ってから戻られることが毎週のようにありましたが、コロナの影響で、今は全く無いです。すぐに帰ってグループホーム内でTVを観たり、音楽を聞いたりするばかりではなく、散歩をして歩いて戻ることが多くなっています。体を動かす機会や外の空気を吸う機会を出来る限り持ってもらい、体調の変化に気を使いながら健康を保てるようにしています。

2021年は利用者の皆さん、元気に誕生会やX'mas等のイベントに楽しんで参加して頂きました。2022年も元気であって頂きたいと願っています。（高木）

メゾン・ド・歩人

お気に入りの店



世間でコロナウイルスという言葉が広まって2年経ちますね。私はそのコロナが広まり始める頃に引越越しをしていました。そこから電車で移動した新し

い土地でお気に入りの食事店を見つけることが楽しみで、ダントツで大好きなスープカレーのお店をまわりたい！と思いつけております。（おすすめあれば教えてください！）しかし感染のことを考えたら、なかなか頻繁には通うことが出来ずにいました。

そんな時期の中で、見つけたお気に入りのお店に昨年11月に数カ月ぶりに足を運ぼうとしたら…。なんと火事で臨時休業、さらに閉店が正式に決まってしまったようで、大ショック!!! コロナでどのお店も営業が大変で応援したいのですが、まさかこんなことになっていたとは…。都内で他の所にも店舗展開がされているお店なので行けないこともないのですが…。願いが叶うなら近くにお店が出来て欲しい。昨年の悲しいエピソードでした。好きなスープカレーは辛めのスープに納豆とオクラを混ぜます。納豆とカレーはすごく合いますよ！（鶴丸）

はじめの一步ハウス

ミニミニ運動会

相変わらずのコロナ禍で中々思うような活動が出来ず、例年楽しみにしているイベントが中止になるようなことが続いていて、なにか楽しいことやりたい！ということで10月にミニミニ運動会を開催しました！会場は一步ハウスのリビングと廊下！皆で新聞紙を丸めて作った玉で玉入れ、綱引き、パン食い競争の3種目。思っていた以上に盛り上がり、賑やかな時間になりました。どんな状況でも工夫次第で楽



しめる！という自信も得られましたが、やっぱりイベント好きの皆ともっと思いっきりお出かけしたりイベントがしたいという気持ちも強くなりました。2022年はそれが叶いますように。(坂野)

とれいる ツチノコ発見

家に猫が来て早半年。猫を飼うのは初めてですがエキゾチックショートの子猫に一目惚れ。とても懐いてくれ、猫のいる生活もいいものだなと感じております。今までペットを飼ったことは無かったのですが、いざ飼ってみると、飼うというよりは一緒に暮らす。という感覚だなと。そして、いつか

は犬も一緒に暮らせたらと思う動物大好きな自分です。

これを書いてたら、子どもの頃の、ペットを連れてキャンピングカーで日本一周をする！という目標を思い出しました。そのためにも日々精進していく次第です。(佐々木)



すうえる 運を持つ猫

昨年9月中旬、庭で雨宿りをしている子猫を見かけました。生後3か月くらいでしょうか？私の視線に気づくと脱兎のごとく逃げてしまいましたが、どうにも気になってしまったので、くるみさんのカリカリを囿に、翌日から張り込みを開始しました。2週間後、朝晩庭に現れてはご飯をねだるようになりました。3週間後、家の中に入ってきてご飯を食べるようになりました。続く1か月は一進一退。ご飯を食べている時間だけは家の中に居られるようになりましたが、閉じ込められるのは絶対嫌、触られるのも絶対嫌…。10月後半に訪れた寒波で室内の快適さを実感したようですが、朝になると出て行ってしまいます。家に帰って室内に子猫がいると嬉しくなりましたが、姿が見えないと不安がよぎります。常時窓が開いているのも防犯上よろしくありません。これ以上距離を縮めるなら神頼みしかない？砂川の猫返し神社とあさりさんが眠る慈恵院に足を運びました。

11月下旬、その甲斐あって？家猫になったのですが、直後に大事件が起きました。ずっと鼻風邪を引いている様子だったので、抗生物質や点鼻薬で治療を試みたのですが、そうではなくて、喉の奥(鼻咽頭)にポリープができ、鼻呼吸を阻害していたのです。約3か月で咀嚼に支障をきたすほど大きくなってしまい、事の重大さに気づいた時は、かかりつけ医で

は対応できなくなりました。1度死にかけ、野生の生命力で持ち直しましたが、2日後に控えた大学病院での摘出手術まで頑張っほしく、再び猫返し神社と慈恵院に足を運びました。

その日の夕方、食欲が戻り、「ちゅーる」を舐めた折に激しくむせたかと思うと、オリーブの種より大きな塊を吐き出しました。ポリープが偶然摘出されたのです。急転直下の展開に、かかりつけ医&大学病院は「実に運を持っている猫だ」と褒めてくれましたが、再発の可能性が高いため、ステロイド投与を試みることにしました。副作用が心配ですが、今のところ元気に飛び回っており、投与の量も順調に減っています。30日は、大掃除もそこそこに、慈恵院と猫返し神社に御礼まいりに行き、この1年間に起きた出来事をしみじみ振り返りました。

買物を済ませた夕方、今一番ハマっているドラマ『おいしい給食』の年末一挙再放送を堪能しました。実をいうと「シーズン2」から見始めたのですが、「給食を食べるために学校に来ていると言っても過言ではない」甘利田先生(市原隼人)がもう最高です！食べる速さは私が上回りますが、彼のように全身使って「美味しく」頂くのが、実は今年目標だったりして…。(坂本)



成年後見制度と 法人後見と 権利擁護



—認知症や障害のあるご家族の今後や、
成年後見制度について詳しく知りたい方へ—

『成年（せいねん）後見（こうけん）制度（せいど）』という言葉を見たことがあるでしょうか。このおたよりを目にされるさまざまな立場の方を想像しながら、今回の記事を書いています。

『成年後見制度』は、障害や認知症のために判断能力が不十分だとされる方の権利擁護の仕組みの“ひとつ”として位置付けられ、家族などの申立てを元に、家庭裁判所が後見人を選任することで、支援を必要とする『被（ひ）後見人（こうけんにん）』の財産管理や、ご本人の希望をもとに生活に必要な環境整備や意思決定支援などの身上保護と言われる支援をおこなう制度です。

後見人は、親族でもなれますが、約8割のケースで弁護士や司法書士、社会福祉士などの専門職後見人が選任されているのが実態です（※1）。成年後見制度は万全・万能ではない、課題の多い制度だというのは皆さんもご存じかもしれませんが、それでも成年後見制度を必要とする人が、住み慣れた地域で、よく知った人たちと共に、その人らしく暮らしてつづけていくための仕組みが必要だと、家族や市民、福祉専門職が集い、2018年5月に設立されたのが『成年後見ウィル』です。

『成年後見ウィル』は、個人ではなく法人として後見人となり、チームで後見業務に当たります。また、法人後見業務だけではなく、安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、生活に不安を感じるご本人や、家族、支援者

からの個別相談（予約制／無料）や申立支援の他、市民向けの公開講座や出前セミナーなども開催しています。

※1「成年後見関係事件の概況—令和2年1月～12月—（最高裁判所事務総局家庭局）」より

私は、2021年3月に行われたウィル独自の養成研修を受け、『成年後見ウィル』の市民後見人のひとりとして活動を始めました。社会福祉士でありながら、成年後見制度の知識は本当に未熟で情けないのですが、志高い先輩や仲間と共に活動し、教わりながら『権利擁護』というものを考え、細々ながら後見活動を続けていこうと思っています。

1回の記事でお伝えするのは難しいな…というのが正直なところですが、まずは『かいゆう』の中にも成年後見人の活動をしている者がいるということを知って頂き、少しでも身近に感じ、気軽に声をかけてもらえたらうれしいです。（かいゆう企画室 池田希咲）

お気軽にご連絡ください



NPO 法人 成年後見ウィル
【問合せ】TEL：070-3109-2255
e-mail：info.npowill@gmail.com

かいゆうのお医者さん

吉嶺 太輔先生



この度御法人の嘱託産業医に就任しました医師の吉嶺 太輔です。資格を取得し4年、今日まで様々な業種の産業医業務を担当しております。職場巡視だけではなく健診結果に基づく就業判定や受診勧奨、またストレスチェック後の面談を必要に応じて実施しています。勤務されている方々に少しでもお役にたてれば幸いです、どうぞよろしくお願い致します。



※先生との面談を希望する場合は、安全委員会へご連絡を！

腰痛ワークショップ

昨年12月に、かいゆうで初のワークショップが開催されました。今回のテーマは「腰痛」です。普段、利用者さんのお供でしか理学療法士の先生に関わることがなかったので、とても新鮮でした。当たり前ですが、身体のことをとてもよくわかっておられて、なおかつ、とてもわかりやすく説明して下さい、好印象の先生です。そして何より、普段、仕事しかしていない職場の同僚、上司と、それもストレッチをするなんて、ちょっと気恥ずかしかったですが、身体をほぐしていくうちに、すーっとして、そんなことは忘れ、リフレッシュ出来ました。そして、こんなに体硬かったの～〇〇さん、と笑いもあり、楽しい時間を過ごせました。大林先生は、遠藤理事長のトレーナーさんでもあり、理事長ご自身が不調からの改善を経験し、紹介下さいました。教えてくださったストレッチ4つは忘れないようにここに掲載させていただきます。(小野)



【注意】

- ・不快な痛み、しびれを感じる場合は、すぐに中止し専門家に相談すること。
- ・呼吸(息を吐きながら伸ばす)をしながら行うこと。

I、腰背部ストレッチ

こんな人におすすめ～
いい姿勢を意識している方、反り腰の方、中腰作業



- ①肩幅より少し広めに足を広げて立つ
- ②身体の前で両手を組む
- ③息を吐きながら、お尻を後ろに引き、手を斜め下に～背中を丸めながら伸ばす
- ④3秒静止し、元の姿勢に戻る

III、臀部チェックとストレッチ

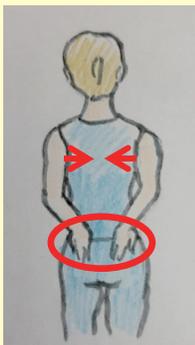
こんな人におすすめ～
足を組む、捻じれて仕事をする方



- ①肩幅より少し広めに足を広げて立つ
- ②腰の横に両手を置く
- ③息を吐きながら左手で腰を右に押し出しながら右臀部を伸ばす
- ④3秒静止し、元の姿勢に戻る
- ⑤反対側も同様に行う

II、腹部・胸部チェックとストレッチ

こんな人におすすめ～
猫背・丸くなりやすい方



- ①肩幅より少し広めに足を広げて立つ
- ②腰の後ろに両手を回し、肩甲骨を出来るだけ引き寄せる
- ③顎を引いて息を吐きながら手で骨盤を前に押し出す
- ④身体を反らし、身体の前面を伸ばす
- ⑤3秒静止し元の姿勢に戻る

IV、肩甲骨チェックとストレッチ

こんな人におすすめ～
デスクワーク等 PC 作業が多い方



- ①胸を張って椅子に座り、頭の上で両手を重ねる
- ②息を吐きながら両手を右斜め上に伸ばす
- ③身体を右に倒しながら左の側面を伸ばす
- ④3秒静止し元の姿勢に戻る
- ⑤反対側も同様に行う



教えてくれた人 大林松乃先生
理学療法士。健康経営アドバイザー・
国立市フレイル予防トレーナーペリネ
ケアアドバイザー女性のためのカラダ
づくりのお手伝い Mom's labody 主宰。



他分野、制度間連携が肝

国立市内の社会福祉法人多摩棕櫚亭（しゅろっぴい）協会の荒木浩と申します。かいゆうさんとの関りは、退職された丹羽さんにお声がけ頂き、第三者委員に就任したことから始まっていますが、近い距離にしながら、それ以上の関りが持てていないのが実態で、後に話す私の周辺縮図を作り出しているようで反省しています。

さて、私のいる法人では、主に精神・発達障がい者の生活や就労を支援しています。私はこの法人で30年弱働いていますが、いくつかの転機を実感しました。それはいきなり現れるというより、いつの間にかそんな風になっていたと感じます。紙面の都合で、一つ一つは書けないのですが、最近大きく変わったなあと感じることを取り上げます。

たとえば、私たちの支援は、ご本人の困りごとと向き合い、双方で解決していくことを目指します。そうすると、ある程度の出来事は時間が解決してい

く感覚がありました。昔に比べ、相当、福祉制度が充実したことが理由の一つで、サービスに結びつけば、多くの困りごとが解決していく感覚がありました。しかしこの間、困りごとの声を聞くと、「精神障がい者です」と相談にお越しになるのですが、生活背景を聞くと「シングルマザーで、お子さんが知的障がいをお持ちで経済的にも苦しい」などという方は、珍しいことではなくなってきました。他の障がいにとどまらず、母子や貧困など、複数の課題が絡み合い、解決の糸口が見えないことがあり、この間、圧倒的に、このような相談が多くなっています。これからの支援が、個人とともに、世帯単位でみていく視点を持って取り組まなければいけないと痛感させられます。つまり、他分野、制度間連携が今後の肝となってくることを日常的に実感しています。行政の縦割りを批判したり、忙しさにかまけるのではなく、自分あるいは組織の風通しのよさを考えながら、かいゆうさんを含む他機関や、そこで働く方の知恵を借りなければいけないと日々感じています。（荒木浩 かいゆう第三者委員）

あなたにく様日記

2022. 初めのお多肉様は、

恋心 & 乙女心です

属名: セダム 原産地: 中米

何度もチャレンジしてはいますがいつの向いかにいなくなっている子たちです(笑)

日当たりがいまいちなのかな... 写真の子たちはまだお迎えはばかりの子びさんです

右が恋心、左が乙女心、かわいいですね〜日当たり重視にしては葉が萎縮せず... (汗) 元気がよいとしよう、寒さにも強いです

そして、新春スペシャル!! 愛猫とおなじタロ前「タロ」という多肉ちゃんです、この子はエケベリア属、葉に傷が有りますが成長点がツクツクです、葉の色に葉中、キューブ120倍ですわ〜

小野肉 多呂子
今年もよろしくお楽しみしましょう!!

小野肉 多呂子の多肉沼コーナーそのV



編集後記 コロナ禍は私たちの暮らしに随分と変化をもたらした。一番大きい変化はマスクか。緊急事態宣言や蔓延防止措置が繰り返し発令され、人流抑制されたため、外食産業がテイクアウトを扱うように。利用促進キャンペーンを大々的に実施しているPayPay等のキャッシュレス決済が増えた。会議、学校の授業他、人が集まる場面にはZoomなるものが導入された。コロナ禍以前はスカイプというものがあったが、いずこへ?そして何よりもワクチンに関する報道。接種は任意なのに、打つのは当たり前かのように。今春始まる5才〜の子どもへのワクチン接種について考えてみませんか。(な)

見てね!

ホームページ



facebook